



4年生の国際理解学習を児童の後ろで視察するアメリカの教員。子どもたちは総社ブラジリアンコミュニティの人から、ブラジルの自然や昔話、食、遊びの4つのテーマで学習した

日本の教育現場を視察

日米教員交流プログラム

ユネスコ・アジア文化センター主催のESD(持続発展教育)日米教員交流プログラムで来日したアメリカの教員16人が、6月22日から9日間、常盤小学校、総社西中学校、総社高校、岡山県立大学の授業や学校の様子を視察し、教育交流を図りました。

6月28日に訪ねた常盤小学校では、全校児童が歌や合唱で温かく歓迎。4年生の国際理解学習や6年生の日本文化を学ぶ様子を熱心に見ていました。また、給食の総社ドッグを児童といっしょに味わいました

タンチョウにヒナ誕生

きびじつるの里

きびじつるの里で6月29日、自然ふ化によりタンチョウの子どもが1羽生まれました。

父はロード、母はキビノです。5月28日に産卵。ロード・キビノは一昨年、昨年に続いての産卵でした。その後約1か月間、2羽は交代で卵を温め、この日の午前6時ごろ、自然ふ化。ヒナは、体長約15cm、体重約150gでした。



6月29日、生まれたばかりのヒナ



ミニフォト

花のアレンジを楽しむ



花をアレンジする子ども

花と関わりながら自分を認める心をはぐくむ体験型プロジェクト「花育」が7月2日、中央公民館で開かれました。子ども約20人が参加。季節の花を5、6本とモールや折り紙などを使い、個性豊かなアレンジを完成させていました。

交通安全の啓発に役立てよう



紙面づくりを学ぶ参加者

交通安全母の会では、年3回発行するたよりを読みやすいものにして7月7日、市役所で講習会を開きました。役員31人が参加。講師の山陽新聞総社支局長から写真撮影やレイアウトなどのポイントを熱心に学んでいました。

1年かけ赤米を学ぶ



田植え綱に沿って植える

赤米の田植えが6月16日、本庄国司神社の神田で、赤米保存会6人と新本小学校5年生15人により行われました。あいにくの雨で、合羽を着て田植えを体験。これから1年間かけ、子どもたちは新本の宝「赤米」を学びます。

地域の絆を深める



ミニサッカーを楽しむ人々

リフレッシュと親睦を目的に、昭和地区ふれあいスポーツ祭りが6月26日、昭和小学校で開かれました。地域住民約200人が参加。子ども向け玉入れをはじめ、ミニサッカー、ソフトバレーボールを楽しみ地域の絆を深めていました。

七夕に願い事を



願い事を結んだ園児たち

訪れた人たちに願い事を書いた短冊を飾ってもらう七夕飾りを6月21日から7月7日まで、市役所1階ロビーで行いました。2本の笹を設置。初日には、清音保育所の園児44人が訪れ、願い事を書いた短冊を笹に結びました。

ブローチやコサージュを作る



熱心に取り組む受講生

布や針金を使ってブローチやコサージュを作るアートフラワー講座が7月9日、清音公民館で開かれました。8人が受講。講師から手ほどきを受けながら参加者は、花びらの形や向きを整え、お気に入りの作品に仕上げました。



岩崎さんから、手の形の指導を受ける子ども。やさしく声を掛けながらのレッスンだった

熱心にピアノレッスンを受ける

総社ミュージックアカデミー

ピアニストの岩崎淑さんが講師を務める公開ピアノレッスン「総社ミュージックアカデミー」が6月25日・26日の両日、市民会館で行われました。

2日間で、6歳から59歳までの14人1組が受講。昨年購入したスタインウェイ製のグランドピアノを使い、同館の舞台でのレッスンでした。岩崎さんは「とっても良く弾けているよ」と声を掛けながら、鍵盤に向かう手の形の基本などを熱心に指導していました。

明るい地域社会を築こう



市役所で行われた広報出発式

「社会を明るくする運動」の広報出発式が7月1日、市役所で行われました。これは、犯罪や非行を防ぎ、明るい地域社会を築く運動。保護司会や更生保護女性会の会員らが、市内の量販店や街頭で広報や啓発活動を展開しました。

夢をもち、近づく努力を



講演する山口衛里さん

総社ライオンズクラブ認証50周年記念講演会が7月10日、市民会館で開かれ、シドニーオリンピック女子マラソン7位の山口衛里さんが、「マラソンで学んだこと」と題して講演。「夢をもち、それに近づく努力が大切」と訴えました。

メールマガジンで情報を配信



携帯電話に着信した情報

市からの情報発信を行う手段の一つとして「そうじゃメールマガジン」を7月1日から、運用を開始しました。防災をはじめ、子育て、イベント、行政の4分野で、随時、さまざまな情報を配信します。まだの人は、登録手続きを。